

KADOMA PHOTO NEWS



8月9日、第7回ふるさと門真まつりが開催され、大勢の人で賑わいました。
子どもたちは水遊び場で走り回るなどまつりを楽しんでいました。大人も盆踊りや模擬店などを楽しむなど、多くの笑顔があふれていました。



門真の魅力が大集結 大阪ウィーク～夏～

7月24日～8月3日、大阪・関西万博「大阪ウィーク～夏～」が開催されました。本市からは7月28・29日にEXPOアリーナで伝統的民俗芸能「ひんや節」、市民ミュージカル「まんだの堤 EXPO 2025」を披露し、大勢の人が演技に目を奪われ、大きな拍手が巻き起こりました。

7月28～30日にEXPO メッセで開催された「地域の魅力発見ツアー」では、カドマイスター企業が出展しました。門真のものづくり技術の展示、ものづくり体験を実施し、門真の技術力を発信しました。

8月2・3日にギャラリー WESTで開催された「世界とつながる TEAM EXPO2025 in 門真」では6万羽の折り鶴の展示や交流を通じて笑顔の輪を世界に発信しました。



7月12日、追手門学院大学で英語体験学習プログラムを実施しました。門真市内の小学5年生～中学3年生の約40人が参加しました。追手門学院大学生や各国からの留学生とクイズやダンス、留学生が準備した各国のパビリオンを回るなど、さまざまな異文化を体験し、参加した子どもたちからは「海外の人と交流できてとても楽しかった」などの感想を話してくれました。



門真市人権講座「ともに生きる」の一環で、7月23日～8月5日に「ヒロシマ・ナガサキ原爆写真ポスター展」、8月1日に「被爆体験伝承講話会」を開催しました。講話会では被爆者から被爆体験や平和への思いなどを受け継いだ伝承者の植村妙江さんの講話を聴き、参加者からは「未来のために、今から自分ができることを子どもたちと考えていきたい」などの感想がありました。